

出合いがターニングポイントを生みだす

井澤林産株式会社 井澤義雄

●決められた事業継承

「本当は、教員になりたかったが、祖父が立ちあげた材木店を継がなければならなかった。どうせ継ぐのであれば、儲けて、自分で学校をつくろうと、夢を見た。」バブル景気の頃に、大学を卒業し、大手商社へも就職内定が決まっていた。しかし、実家では、製材業を継承すべく、卒業後の進路として大手木材市場への就職まで準備されていた。就職先は、全寮制で厳しい修業時代だったが、三年間務めあげ、若手の育成も行った上で実家の家業を継いだ。

●災難

若い頃は、家業と共にJC活動にも力を入れていた。四〇歳を過ぎて、ターニングポイントが訪れた。会社の社長であった父が、連帯保証に引っかけた。さらに、追い打ちをかけるように、工場の火災。会社が傾いた。今まで付き合っ

ていたJCの多くの仲間も去っていった。陰でいろいろ言う人もいた。よからぬ風評もたつた。

自分は、今まで続けてきた会社をつぶしたくない。勤め続けてくれていた社員を失いたくはない。家族を守っていかねばならぬ。改めて、会社をどうしていくか、考えなおした。行動を変えた。

●出合い

火災により工場の規模は

小さくなり、今までのように、木材を出荷できなくなつたことが、新たな仕事への転機となった。木材を販売する今までの仕事と共に、住宅設備什器の仕入れと販売施工、リフォーム工事業務への拡大を行った。3つの事業を一生懸命に取り組んだ。

一生懸命に取り組んでいる姿を見て、声をかけてくれる人たちと出合った。新たな人との出合いが、ターニングポイントとなった。会社がつぶれると噂される

●気づき

中でも、仕事を懸命に取り組んでいる姿は、伝わるということを実感した。今まで取引がなかったにもかかわらず、事務所や住宅を建設する際に木材、什器、リフォームをあわせて仕事をさせてくれた。この頃起きたのが、東日本大震災。もう、何も怖いものはなかった。

仕事の内容を見直し、新たな仕事に軌道に乗り出した。出合いのおかげで、応援してくれるメーカー本社と直接取引することができ、仕事の受注へも有利につながっている。

火災や震災などの災難は大変だった。しかし、今までのように木材を販売しているだけの業務ではなく、身の丈を考え、これから求められる仕事をしていくべきであることを、神様が教えてくれたのではないかと感じている。

●付加価値を高める

これからも木材を販売することと共に、木材製品を自社で加工組立し、販売していくつもり。

大工場ではできない、付加価値をつけた木材、木材製品を加工、施工できる会社として幅を広げていきたいと考えている。もし、火災や震災がなく、昔のまま木材販売だけだったら、会社が續いていなかったかもしれないと感じている。

工場の火災により、社員は半分に減った。今でも勤め続けている社員には感謝し、会社として、保険などの加入も積極的に行っている。

「人と人の出合いが、人生の良いターニングポイントを生みだす」という思いを大切にやり組んでいる。

【井澤林産株式会社】

いわき市泉町滝尻字東越地
44
電話0246・85・5111
木材のことはもちろん！
住まいのことは、
なんでも相談承ります。



「出合い！」右が井澤義雄氏